

# 原子力発電所の更なる安全性の確保を

## 求めるための意見書

今回のマグニチュード9.0の地震による東京電力福島第一原子力発電所の大規模な事故は、27kmの距離に九州電力玄海原子力発電所を控える吉岐市民としては、到底看過することのできないものである。

「原発は安全である。」という神話は、完全に崩壊したと言わざるを得ない。予想の範囲を超えた事態とか、数百年に一度の地震というのは、現実に行き始めている悲劇に目を背けようとするものである。もちろん一方で原子力発電の必要性は認めるものの、政府におかれは次の様に対処される事を望むものである。



玄海原子力発電所と吉岐市との位置を確認しておこう。

- 九州電力が管轄する玄海原子力発電所について、想定している地震の規模と安全性の情報公開。
- 原子力発電所設置は、当該市町村と隣接する自治体の同意のみが要件である設置条項を改訂されたい。(少なくとも、事故の被害が予測される30km圏内の自治体の同意を必要とする。)

- 原子力発電所の安全性と被害の補償は、すべて国の責任である事を明確にし、安全基準の改定と既存施設の安全性の見直しを求める。
- 国民保護法に則った、国民保護計画の見直しを求める。

以上地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。

平成23年3月18日

長崎県吉岐市議会

内閣総理大臣外、関係機関へ送付した。

# 市民の声



議会だよりクイズの応募の中で、お寄せいただいたご意見や感想を紹介するコーナーです。

高校生のフェリーは無料にしてほしい。  
16歳

1年を過ぎた博物館の入場者減の報道、島国であるためどうしてもオフシーズンの観光客の来島が減るのは当然である。では、地元のリピーターを増やす策、子ども達のキッズコーナー春夏冬休みに、科学館や宇宙館等、子ども達に関心を持つようなことを少しずつ取り入れていくと、今日は、今週は、今月は何があるよと親子で行くようになるのでは。我々も何回も行ったけど変わり映えがなく残念。  
60歳



一支国博物館によって、観光客はどのくらい増えて、今の状況はどうですか??  
12歳

平成22年の観光客数を推測する指標(九州郵船とORCの乗降客)では0.7%の減ですが、高速道路無料化や口蹄疫等で離島の観光産業に影響を受けたにもかかわらず減少率がそれとどまったのは、一支国博物館の効果があったようです。

議会だよりが届くのを楽しみに待っております。狭い吉岐でも今のような事が話題になっているのか、又自分達が知らない情報を見聞出来とても嬉しいです。クイズも楽しみになります。  
75歳



チューリップ畑(郷ノ浦町庄触)